

相馬市成人式

市成人式は1月13日、市民会館で行われ、晴れ着やスーツ姿の新成人が大人の自覚と責任を胸に秘め、式に臨みました。

成人式の司会を務めたのは、秋元謙伸さんと渡部遥香さん。

式で立谷市長は「皆さんは震災という極めて厳しい状況の中で成人を迎えることができました。両親、社会に対する感謝を忘れずに、志を持って生きてください」と新成人を祝いました。

新成人意見発表では、只野海斗さんと浜内由佳さんが新成人としての決意を述べました。

新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた友人と写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりするなど、再会を喜び合いました。

今年成人を迎えた、平成10年4月2日から同11年4月1日生まれの318人が式に参加しました。



式場に飾られた市華道教授会による生け花



成人代表 只野海斗さん



私たちは成人式という人生の大きな節目を迎え、中には日々勉強に励み努力している人や、すでに就職し夢に向かって歩き始めている人など、一人一人さまざまなお思いや目標を胸にこの場に集まっていることと思います。こうして私たちが今ここに立てるのも、一番そばで支え、育ててくれた家族や、お世話になった恩師の方々、地域の皆さまのおかげです。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、いつか皆さまへ恩返しができるよう日々努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

私事ではありますが、四月より、生まれ育ったここ相馬

市を離れ、関東地方に就職することが決まりました。地元さらには家族の元を離れることは大変心苦しく、そして、自身の新たな生活への不安もあります。しかし、今、ここにいる仲間たちの輝きと自信に満ち溢れた顔を目にすることができ、決心がつかしました。これまで応援してくれた家族や恩師の方々のためにもくじけずに一生懸命この先を歩んでいきたいと思っております。

新成人の皆さんもふるさとを誇り、次に成人する後輩たちの見本になれるよう、これからの新しい未来への期待に胸を躍らせ、人生を楽しんでください。

最後に、私たち新成人一同は、それぞれの目標に向かって努力し、自らの行動に責任を持ち、立派な大人として社会で活躍することを誓います。

※一部を抜粋して掲載しています。

大人の自覚を胸に



司会を務めた渡部さん(左)と秋元さん(右)



式で国歌斉唱する新成人



あいさつする立谷市長

→成人式当日の様子は、
こちらのQRコードか
らご覧いただけます。



2011年3月11日に発生した東日本大震災から間もなく八年という月日が経とうとしています。相馬市は着々と復興が進み、私自身の心にも大きな変化が生まれました。私事ではございますが、現在、私は大学で国際学を学んでおります。新しい視点から世界を見ることで自らの視野

本日、私たちは成人式という人生の大きな通過点を迎えることができました。この日を喜んで迎えることができたのも、生まれてから二十年間、温かくご指導してくださった恩師の方々、地域の方々、そして苦業を共に歩んできた友人、全ての方々との出会いのおかげであると思っております。



成人代表
浜内由佳さん

が広がり、そして世界と私の関わりを学ぶことで、私にとっての当たり前は当たり前ではないということを改めて認識することができます。これらの学び、そして震災という経験によって、私自身が大きく成長するきっかけとなり、常に感謝の気持ちを忘れずに生きていこうという決意が生まれました。

本日、成人式を迎えた私たちは、各々が違う状況で生活しております。これから先どのような選択をし、どのような道に進むのか、私たち自身にも分からないことばかりです。しかし、私たちは本当に多くの方々に支えられ、たくさんのご恩を受けて今ここにいます。このことを常に胸に留め、支えてくださった方々への恩返しとなるよう、思いやりのある行動を心がけてまいります。

※一部を抜粋して掲載しています。